

令和6年度の重点課題

【運動面】

【男子】「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「50m走」において、県平均を下回っていた。

【女子】「反復横とび」以外の項目において、県または全国平均を下回っていた。なかでも、「20mシャトルラン」において、県、全国平均を大きく下回った。

【情意面】

運動が好きでない生徒の要因の一つとして、運動の必要性がわからないことが挙げられた。よって、「なぜ運動が大切か」を生徒に考えさせる場面を作り出すことが課題である。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- ・「できる」「わかる」を目指した授業改善。グループ活動やペア活動を積極的に取り入れた授業の実施。
- ・全体的な体力要素の向上
⇒特に、全身持久力の向上を目指すため、持久力を高める活動を実施する。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	29.15	25.62	42.92	55.31	71.23		7.85	206.23	18.85	41.46	第2学年	23.00	23.83	59.33	55.83	58.67		8.43	201.50	13.67	59.33

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	29.15	25.62	42.92	55.31	71.23		7.85	206.23	18.85	41.46	第2学年	23.00	23.83	59.33	55.83	58.67		8.43	201.50	13.67	59.33

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	58.33	16.67	8.33	16.67	第2学年	57.14	42.86	0.00	0.00

学校独自の意識調査

生徒アンケート【7月】

学習への意欲に関する項目:「もっと知りたい、実習をやってみたいと思う」に対する肯定的評価100%

授業の理解に関する項目:「授業の内容が理解できている」に対する肯定的評価100%

生徒アンケート【12月】

学習への意欲に関する項目:「もっと知りたい、実習をやってみたいと思う」に対する肯定的評価100%

授業の理解に関する項目:「授業の内容が理解できている」に対する肯定的評価100%

重点課題

情意面での課題

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」

男子の肯定的評価:75%(県平均+6.3, 全国平均+8.3)

女子の肯定的評価:100%(県平均+53.9, 全国平均+57)

全国平均や県平均と比較しても、情意面においては大きく上回っていた。

○今後の課題

男子において、否定的評価の生徒が25%(約3人)であった。今回の調査だけでは、運動やスポーツが嫌いだと感じる要因までは調査しきれなかったため、

「授業の中での関わり合い」「体育自己有用感」「体育自己肯定感」など様々な面での調査を行い、授業を見直ししていくことが課題である。

体力面での課題

【男子】:「上体起こし」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均及びR6年度全国平均を下回っていた。

【女子】:「握力」の項目において、R6年度の県平均を下回っていた。

○今後の課題

・全身持久力の向上や巧緻性の向上が必要である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

【情意面】

生徒アンケートより、体育の授業については、「運動やスポーツをすることが好きでない」と回答した生徒も肯定的な評価を行っていた。そこで、運動技能の段階に合わせた授業づくりを行ったり、引き続き、運動が嫌いな生徒でも、「仲間と共に運動をすることが楽しい」「記録を向上した時が楽しい」と感じられるよう、仲間と協力して、課題に取り組むペア活動やグループ活動を取り入れる。また、心理的な安心や安全な授業環境を考慮して、教材開発や授業を行い、体育の授業を通して、運動やスポーツが楽しい、好きだと感じられるように改善していく。

【体力面】

授業の導入場面で、体力要素を高める活動を継続的に行う。

特に、全身持久力を高めるために、走ることを中心にしたウォーミングアップを重点的に行う。

体育の授業以外で行う取組内容

・運動の好悪度に関する多面的なアンケートを実施し、生徒が運動が好きな理由や嫌いな理由を具体的に明らかにしていく。

・全身持久力や、巧緻性、柔軟性を高めるための運動の仕方についての情報を掲示物で発信する。

・前年度に引き続き、校内の正面玄関にハンドグリップを置き、休憩時間等を利用して筋力の向上を促す。

・委員会活動の球技大会や体育朝会などを通して、楽しく運動をする機会を設ける。

令和8年度の
重点目標値

- ・【運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか?】に対する生徒の肯定的評価を80%以上にする。
⇒生徒の運動が好きだと感じる要因、嫌いだと感じる要因について多面的なアンケートを行う。
- ・全体的な体力要素の向上
⇒特に、全身持久力の向上を目指すため、持久力を高める活動を授業の始めに継続的にを行い、来年度の県平均を上回る。